

学科名	電気通信工学科						
科目名	電気電子情報工学実験Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	必修科目						
担当者	平野 剛						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝送方式の基本となるアナログ変復調の原理を知り、その特性が測定できる。(A10,B1,B2,B6)</li> <li>・シミュレーションソフトを利用しデジタル通信システムの構成とその特長を知る。(A10,B1,B2,B6)</li> <li>・ロボットアーム制御系の構成を知り、構成要素の特性を知るための測定ができる。(A10,B1,B2)</li> <li>・コンピュータ制御に欠かせないアナログ信号とデジタル信号の変換(AD、DA)の基本原理を学ぶ。(A10,B1,B2,C2)</li> <li>・大気圧下での球ギャップの火花放電や碍子フラッシュオーバーの特性を知り、高電圧放電試験が行える。(A10,B1,B2)</li> </ul>						
日程と内容	9/17 変復調実験 9/24 変復調実験 10/1 課題に対する調査、まとめ 10/8 変復調シミュレーション 10/15 変復調シミュレーション 10/22 課題に対する調査、まとめ 10/29 ロボット制御 11/12 ロボット制御 11/19 課題に対する調査、まとめ 11/26 A/D変換・D/A変換回路 12/3 A/D変換・D/A変換回路 12/10 課題に対する調査、まとめ 12/17 高電圧実験 12/24 高電圧実験 1/14 課題に対する調査、まとめ 1/21 予備日						
成績評価基準	定期試験		実技			20%	
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	60%	プレゼンテーション				
	課題	20%	計			100%	
	演習						
授業到達目標の達成度	到達目標の項目は概ね実験内容に盛り込むことが出来たと考えている。						
反省点	今年度は非常にレポートの提出状況が悪く、提出期限を守れない、未完成で提出する学生が多かった。この実験科目は5人の教員がそれぞれの実験を担当しているため、どうしてもテーマによっては難しくレポートが書きにくいようである。そこで事前に担当者会議を開催し、実験終了時にきちんと提出できるようにレポート課題内容を調整し、教員間の意思疎通及び採点基準の平均化を図りたい。						
来年度の計画	来年度も同じ実験テーマだが、一部教員が新任の常勤教員に変わるため、学期初めに会議を行いしっかりと前年度の反省を生かせるようにしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	今回のアンケートでは3点台の項目が一つもなく、4.0から4.2の間で占められていた。また総合評価が8.1であったため授業に対して概ね学生は満足していると思われる。総合評価の理由欄には実験することは楽しい事がうかがえた。						
履修登録者数	54名	定期試験 受験者数	53名	合格者数	47名	合格率	89%